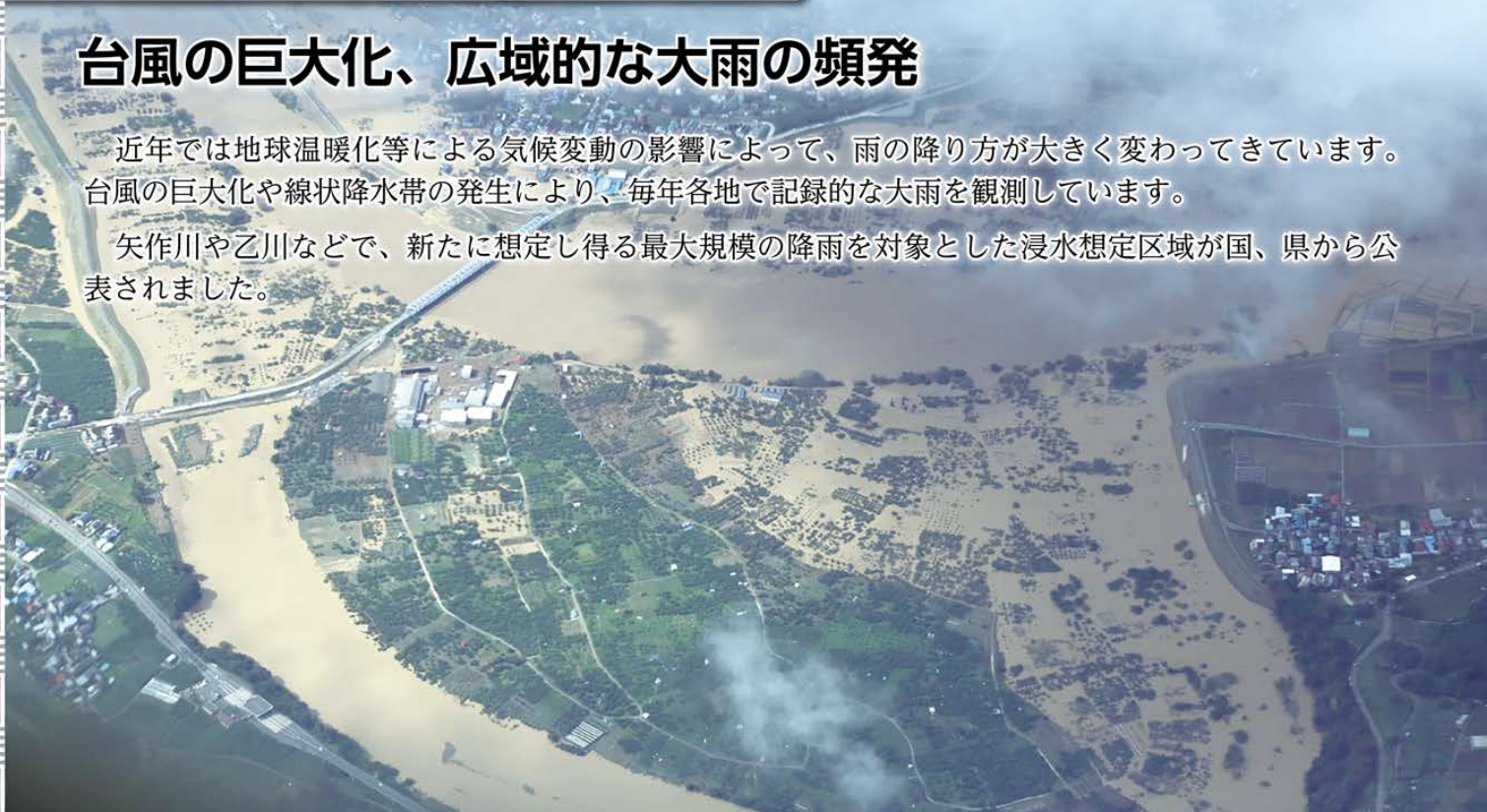


市内に起こりうる水害

台風の巨大化、広域的な大雨の頻発

近年では地球温暖化等による気候変動の影響によって、雨の降り方が大きく変わってきています。台風の巨大化や線状降水帯の発生により、毎年各地で記録的な大雨を観測しています。

矢作川や乙川などで、新たに想定し得る最大規模の降雨を対象とした浸水想定区域が国、県から公表されました。



千曲川（長野県中野市、10/13撮影）国土地理院
「令和元年（2019年）台風第19号に関する情報：空中写真（斜め写真）」

岡崎市の水害

市内には矢作川、乙川、広田川が流れているとともに、鹿乗川、伊賀川、占部川等の多くの中小河川が市街地を流れています。

市内を流れる乙川等の中小河川では、これまで豪雨等により、浸水被害がたびたび発生しています。特に東海豪雨（平成12年9月）や平成20年8月末豪雨、令和5年6月2日大雨では、大きな被害を受けました。



東海豪雨

大和町付近の浸水の様子



平成20年8月末豪雨

前田川破堤



令和5年6月2日大雨

小美町付近の浸水の様子

水害の進展イメージ

いつも通り
雨が降りだす...



市内や周辺に
たくさんの雨が降ると...

内水 氾濫



岡崎市では過去にも内水氾濫や中小河川の氾濫が発生しました。

しかし、過去の水害では水が来なかった場所でも浸水するおそれがある場所もあります。経験にとらわれず、迷ったらまず避難するなど、積極的に命を守る判断が大切です。

市内や周辺にたくさんの雨が降り、川へ排水できなくなると、低いところに雨水が溜まります。これを内水氾濫といいます。

内水氾濫が発生すると、場所によっては深いところや流れが速いところがあり、外出や移動が危険な状況になります。

市内や
周辺に降る雨
に注意



市内や周辺に
多くの雨が降りつづくと...

中小河川 氾濫



市内や周辺、市の山間部などで大雨が降ると、市内にたくさん流れている中小河川が氾濫し、深いところで10mまで浸水したり、川の近くでは家が流されたりすることもあります。

市内や
周辺に降る雨
に注意



土砂災害 発生

矢作川流域に
多くの雨が降りつづくと...

矢作川 氾濫



矢作川流域に多くの雨が降り続くと、降った雨が矢作川に集まります。

矢作川が氾濫すると深い浸水となり、市内中心部には建物が流されてしまうほど危険な区域が広がっています。

そのような地域では、矢作川流域に降る雨に注意して、早め早めの判断と行動が必要です。

また、雨がやんでも水位が上がるときは、注意が必要です。

矢作川流域
に降る雨
に注意

